

林業・木材産業労働災害の 現状について

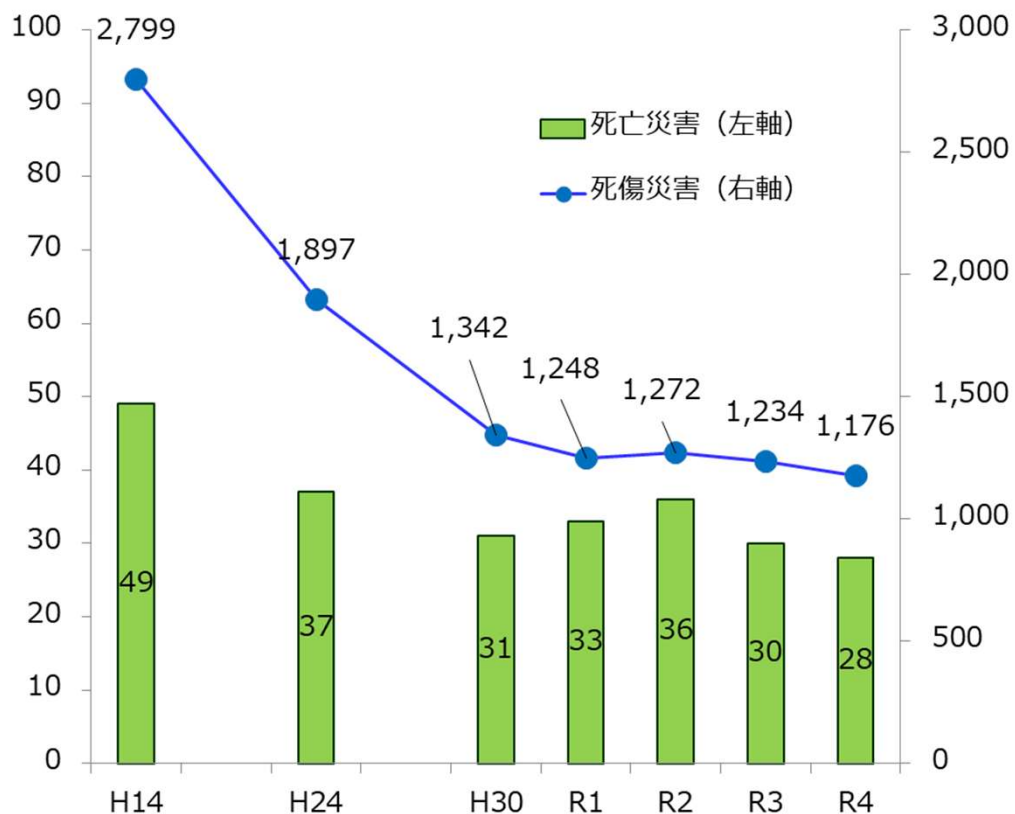
林野庁



林業における労働災害の発生状況

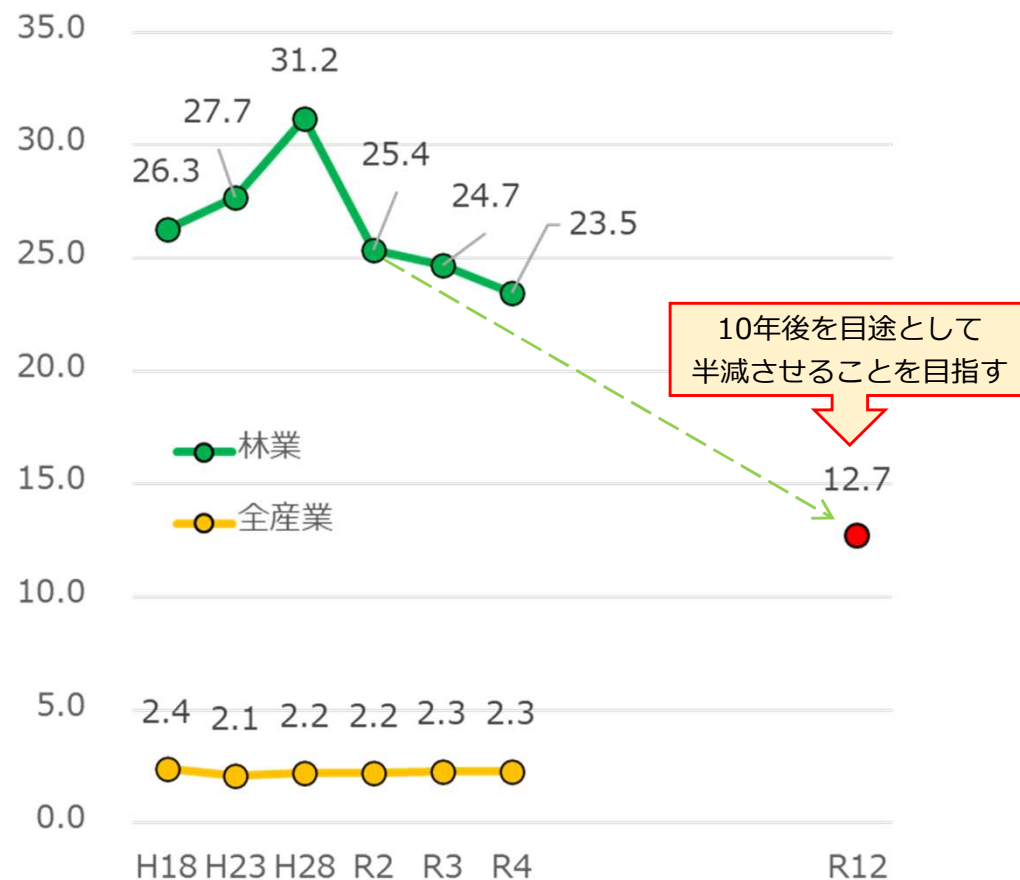
- 死傷災害は、20年で4割程度まで減少
- 死亡災害は、減少傾向
- 死傷年千人率（労働災害の発生率）は、全産業の約10倍であり、全産業で最も高い値

■ 林業の労働災害発生件数の推移



出典：労働者死傷病報告

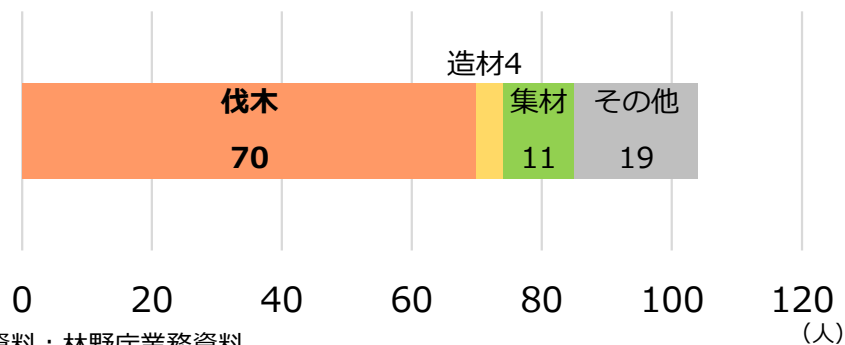
■ 死傷年千人率の半減



林業の労働災害の特徴

- 死亡災害の約7割が伐木作業時に発生
- 経験の少ない林業従事者に加え、ベテラン従事者も被災が増加
- 小規模経営体の死傷災害件数が約半数を占める

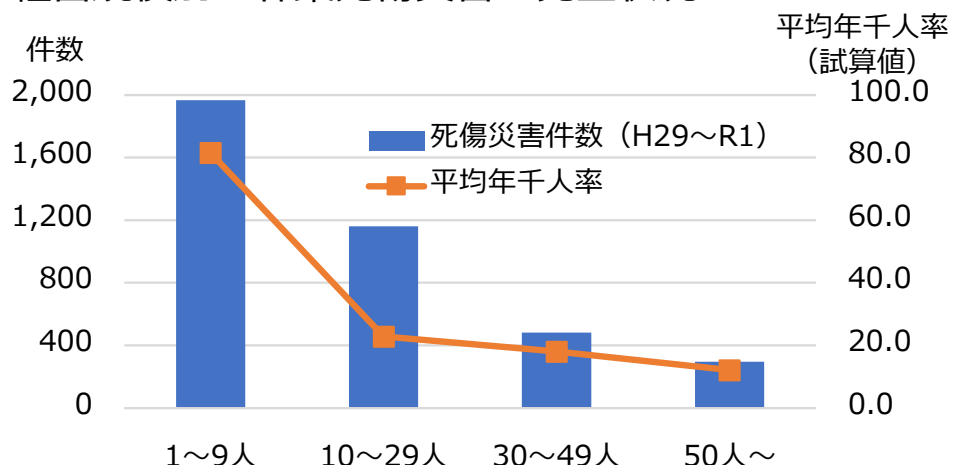
■ 作業別の林業死亡災害の発生件数



資料：林野庁業務資料

注：平成29年から令和元年の死亡災害104件について作業種ごとに分析

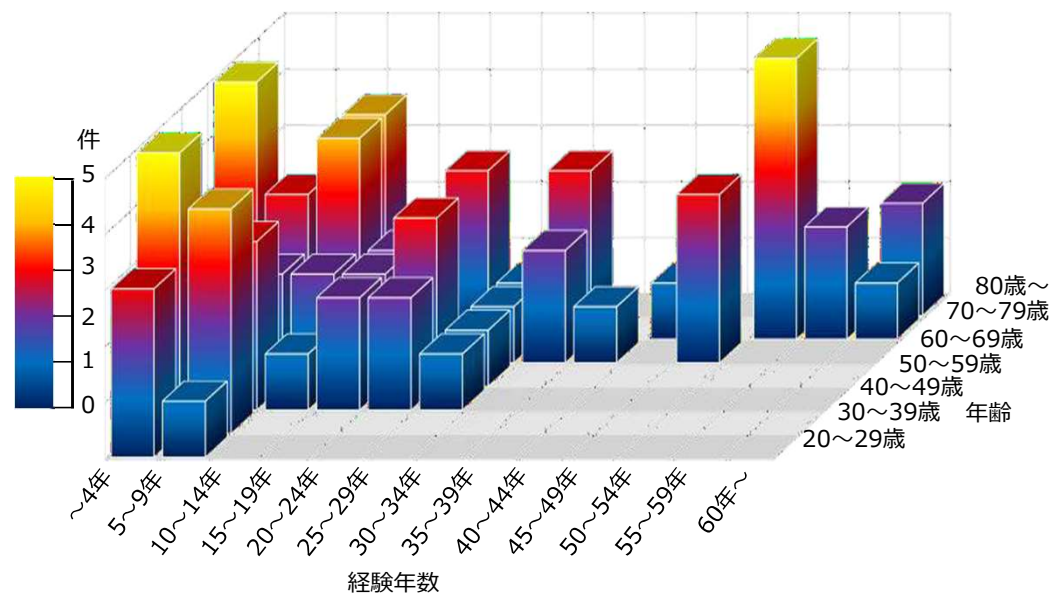
■ 経営規模別の林業死傷災害の発生状況



資料：農林水産省「新たな現場の作業安全対策の実現に向けた調査委託事業報告書」(令和2年度)を一部改変

注：平成29年から令和元年の死傷災害3904件について分析

■ 被災年齢と経験年数別の林業死亡災害の発生件数



資料：農林水産省「新たな現場の作業安全対策の実現に向けた調査委託事業報告書」(令和2年度)
注：平成29年から令和元年までの死亡災害82件について分析

令和5年死亡災害発生状況（木材・木製品製造業）

死亡災害月別発生状況

（令和5年7月末時点）

	年	月												年計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
木材・木製品 製造業 (家具を除く)	R4	1	1	0	0	0	2	0	2	0	2	1	0	9
	R5	1	1	1	1	2	1							7

令和5年死亡災害概要

（令和5年7月末現在で把握しているもの、確認中含む）

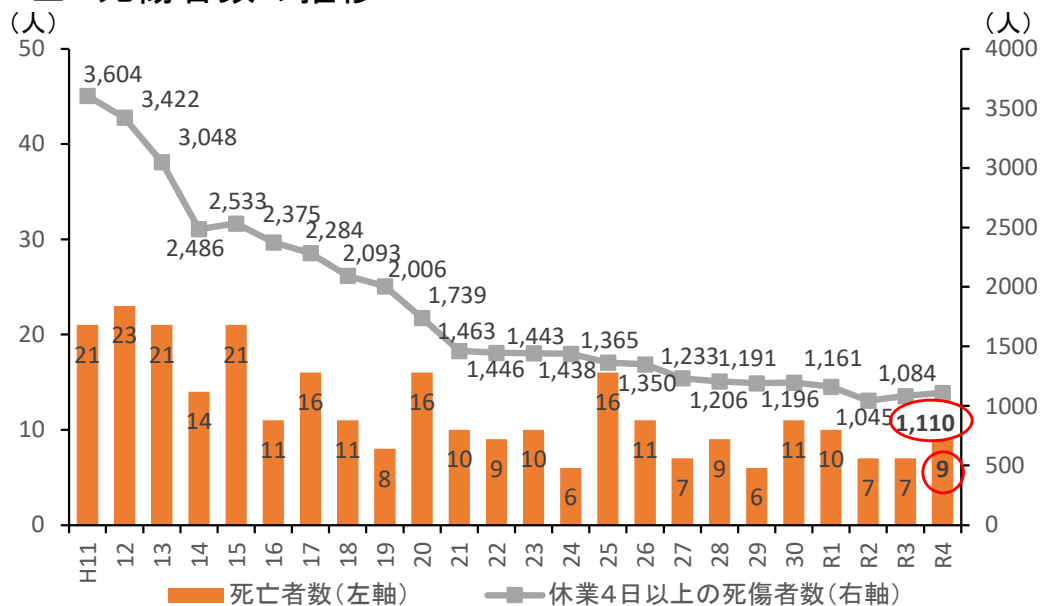
都道府県	発生月	災害の概要
高知	1月	4面加工機の不具合を直そうとしたところ、加工が終了した材を盤台に降ろすためのテーブル(エレベーター)を駆動するアームと支柱の間に胸部を挟まれた。
福井	2月	パーティクルボード(木質ボード)の原材料である木材チップの貯蔵庫内での死亡が確認された。(原因等詳細については調査中)
兵庫	3月	倉庫でフォークリフトと木材に挟まれた。
宮城	4月	合板製造ラインにて、機械加工された材料をリフターに積み上げる工程で、一定重量になった材料を送り出す装置付近で頭部から出血し倒れていたもの。
福井	5月	パーティクルボード工場(素材行程)において火災が発生し、従業員4名が被災、うち1名が死亡した。(事故原因等調査中)
島根	5月	高さ約1メートルの作業台に上がり、チェーンソーを使った原木の切断や木材をチップ化する機械の運搬などをしていたところ、何らかの理由で転落し、頭部をうちつけたものと推測される。(詳細については調査中)
岡山	6月	倉庫でフォークリフトを使用し木材の運搬作業中、空荷のフォークリフトが横転し、ヘッドガードと地面の間に頭部を挟まれた。

木材産業における労働災害の発生概要 (死傷者数、死傷年千人率)

- 木材・木製品製造業（家具を除く）の死亡災害と休業4日以上の死傷災害による死傷者数は、平成11年と比べて約7割減少しているが、近年は微減で推移
- 死傷年千人率（労働災害の発生率）は、全産業と比較して約5.3倍。製造業全体と比較しても約4.6倍

○ 木材産業における労働災害の発生状況

■ 死傷者数の推移

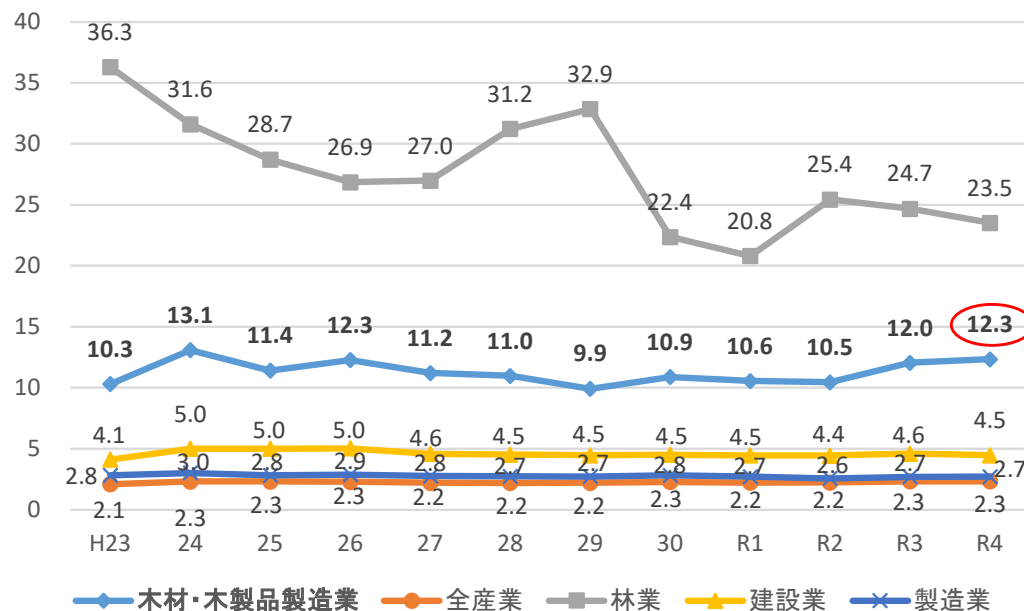


資料: 厚生労働省「労働者死傷病報告」

注: H23年は東日本大震災を原因とするものを除く。

注: R2～4年は新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを含まない。

■ 産業別死傷年千人率(休業4日以上)の推移



資料: 厚生労働省「産業別死傷年千人率」

注: 死傷年千人率とは、労働者1000人あたり1年間に発生する労働災害による死傷者数を示したもの。

■ 労災保険率(R4年度)

	木材・木製品製造業	林業	全産業
労災保険率	14/1000	60/1000	4.5/1000

資料: 厚生労働省

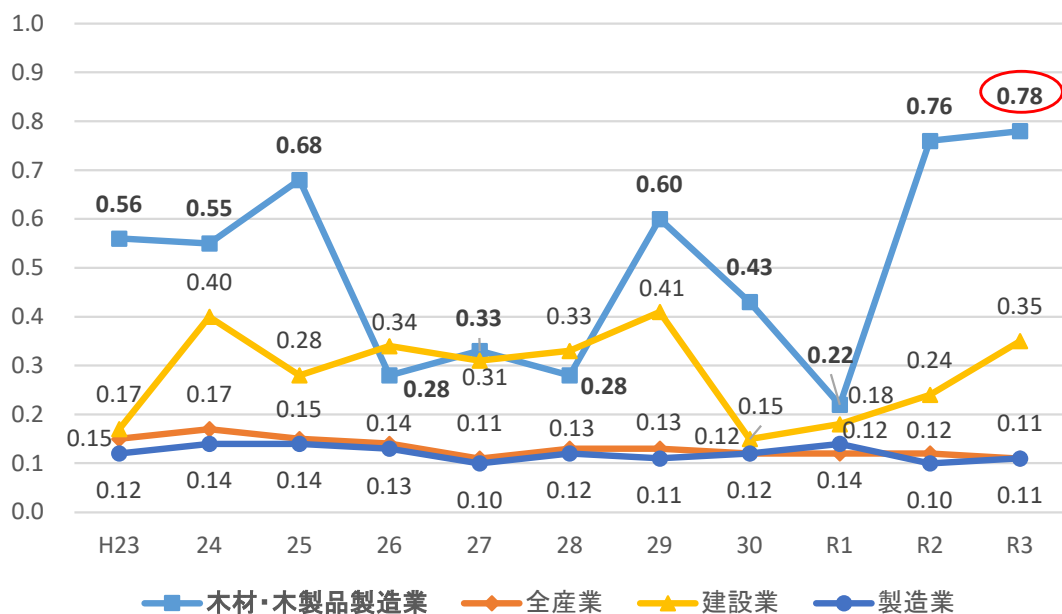
注: 労働保険料は賃金総額に労災保険率を乗じて得た額

木材産業における労働災害の発生概要 (強度率、事業場規模別)

- 木材・木製品製造業（家具を除く）における強度率は他産業と比較して高い値で推移しており、重大災害が多い状況
- 事業場の労働者数規模別の死傷者数をみると、30人未満の事業場において多く発生しており、小規模の事業場ほど労働災害が多い傾向

○ 木材産業における労働災害の発生状況

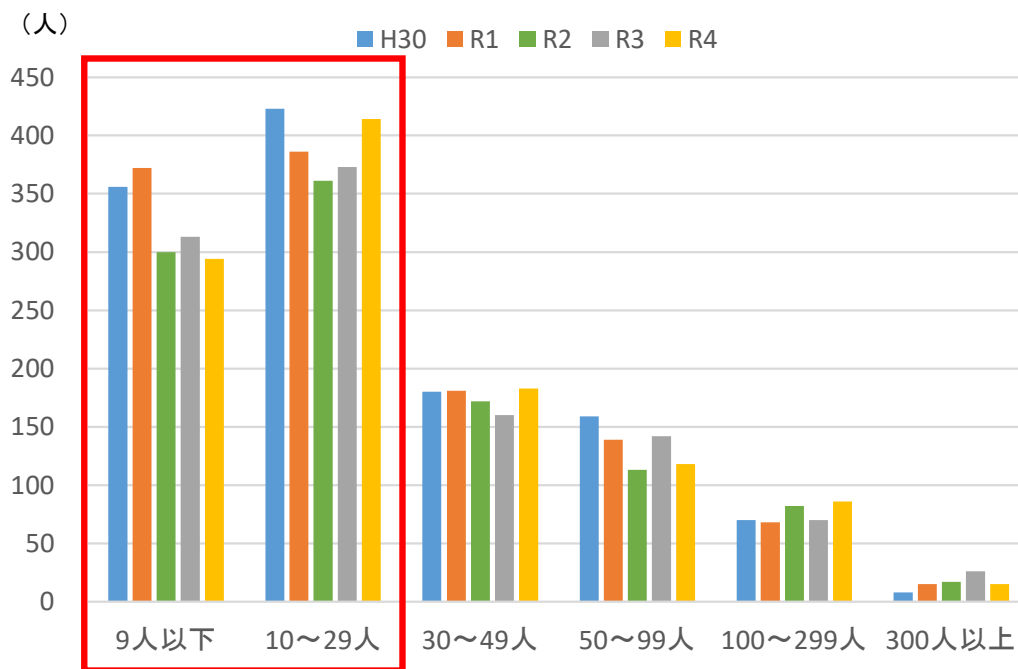
■ 強度率の推移



資料: 厚生労働省「労働災害動向調査」

注: 強度率とは、1,000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表したもの

■ 事業場規模別死傷者数の推移



資料: 厚生労働省「労働者死傷病報告」

注: R2~4年は新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを含まない。

注: 事業場規模の人数は、事業場の常用労働者数